

公共物の景観整備を

尾作 武夫 議員(自)

答弁 住民・企業の協力を得られるか研究



質問 公共物であるガードレールは、落書きや破損、汚れ、また交通標識は傾斜し、防火水槽や消火栓の標識は役目を果たせないほど錆や腐りがひどい。校庭のバックネットも錆び付き、中央体育館のフェンスも傾いたままであり、他にも数多くある。行政は、「まち」の景観に責任ある立場であるが、今はマイナスイメージを与えている。この機をとらえて行政として景観整備に取り組みべきであるが、町長の所見を伺う。



中央体育館のフェンス

町長 行政財産の維持は町が日常的な維持管理責任を負っている。これらの汚れや破損は、安全性の確保のみでなく、景観上も好ましくないので所管ごとに点検確認し、速やかな改善を図り、より効果を高められるよう対応を進めたい。

なお、今後は監視機能の強化として、行政のみでなく、住民や企業の方々のご協力が得られる方法を研究し、適切な行政財産の維持管理に努める。

談合の防止策と姿勢を問う

谷 四男美 議員(住)

答弁 今回の事件を重く受け止めている



質問 先般、町発注工事の談合事件で庁舎内に司直の手が入るといってない不祥事が発生した。横田基地の軍々共用容認発言と同時に進行したこの事件は、行政をチェックする我々議会としても非常に残念であった。談合事件は業者に対する罰金という形で一応終息したが、町として今後具体的などのような防止策をとっていくのか、その対策と姿勢について伺う。

町長 今回の談合問題では、町職員の関与はなかった。しかし、たとえ業者間の談合とはいえ、町としては、今回の事件を重く受け止め、入札・契約制度の改善を行った。具体的には、これまで指名選定委員であった工事担当課長を説明員に変更し、また、談合が発覚した場合の違約金条項の追加など罰則を強化した。なお、今後は一般競争入札の導入や他の入札方法も含め検討していく。



町発注の公共工事(元狭山コミュニティセンター)

談合防止策を強化せよ

近藤 浩 議員(改)

答弁 入札・契約制度の改善に努めていく



役場内部調査委員会の調査結果報告書

質問 談合事件の報道が後を絶たないが、瑞穂でも今年2月21日に、町発注工事における競争入札妨害の容疑で、業者の逮捕・書類送検が行われた。町でも内部調査委員会の設置などの取り組みを行い報告も受けたが、今後の談合防止策の強化にあたり、どのように進めていくのか。

また、対策の一つとして総合評価型入札制度の導入や第三者委員会の常設などを検討できないか。町長の所見を伺う。

三三解説

総合評価型入札制度

価格だけでなく、環境対策や障害者雇用等の取り組みを総合的に評価して契約する制度。

こんな質問もありました
横田基地の今後の展開は、町長 情報収集に努める。

簡素で効率的な町政運営は

木原 武雄 議員(清風)

答弁 住民からの信頼と理解があってこそ



質問 町の財政状況は健全に推移している。しかし、サービスのさらなる充実を図る工夫や、安くて質の高いサービス提供をすべきである。町の特性や魅力を引き出す意識改革も必要である。行政サービスとは如何にあるべきか、コスト意識のもとに実施すべきであり、固定概念にとらわれない、新たな発想が求められる。国は行革推進法案を国会に提出し、小さな政府を目指している。町は簡素で効率的な町政運営をどう推進するのか所見を伺う。



4月に課が新設・統合された役場2階の窓口

町長 第3次行政改革大綱では、職員数の適正化や組織の見直しなどを掲げ、民間への業務委託や指定管理者制度の導入など、コストダウンを常に追求している。

効率的な町政運営は、住民の行政に対する信頼と理解に支えられたときに、最大の効果をもたらすものと考えている。

今後も住民ニーズの的確な把握に努め、適切な行政サービスを選択し、最も効率的な手法で進めたい。

町長 町では、業者間の談合とはいえ、今回の事件を重く受け、入札・契約制度の改善に努めていく。総合評価型入札制度の導入については、落札者の決